



# スオウパーティ通信

2026年  
9月号

スオウ社は試作開発で2年間発行してきた「スオウパーティ通信」をWebサービスとして再構築し、「ハレ新聞」として一般提供を開始しました。

もともとは、若い世代でも手軽に運営できるWebベースの情報発信・メディアとして着想したものです。その後、自社のプログラミング教室で毎月新聞を発行し、教室で起きた出来事などを内外へ伝えながら実運用を重ねてきました。ハレ新聞では、ブラウザ上で紙面を編集し、A4サイズで印刷して手渡ししたり、A3サイズで掲示したり、Webページとして公開したりと、情報を届ける相手や場面に合わせて発信方法を選べます。

ハレ新聞は、出来上がる新聞そのもの以上に「新聞づくり」という営みを大切にしています。身近なものを見つめ、何を考え、何を伝えるかは人が担い、制作や運用を支え、その可能性を広げる役割はデジタルが担う——この思想がサービスの根底にあります。インターネットやSNSで情報の氾濫や悪用が課題となる今だからこそ、人の力とデジタルの力をうまく融合させる1つの事例になればと考えています。ハレ新聞はただの仕組みです。この仕組みを使い、どんな新聞をつくり、どう届けるのかは、運営する人たちが次第です。

## テック甲子園応募作品 防災意識向上アプリ



創造コースに所属する塾生が5カ月かけて防災意識向上アプリを作りました。小中学生向けの防災授業には改善の余地がある課題に着目して、授業を後押しするWebサイトを開発。地図で避難所を選択する際に、近さで選ぶ場合は同心円で、高さで選ぶ場合はハザードマップを重ねるなど、見てすぐ分かる工夫を加えました。

## 技術認定試験デモ動画 YouTubeで公開

技術認定試験デモ動画をYouTubeで公開しました。試験の内容はゲーム・仕組み・物語など様々で、難しいながらも講師の遊び心が詰まったものが沢山あります。試験では、動画を観察し作るもののルールを頭の中で整理することから始まります。必要最低限の情報は与えられますが、全体の流れを作りつつ、細かな部分は後でやる進め方も大事です。60分の限られた時間で、思考を働かせて作り切る総合力を確認する試験です。

